



平成 28 年 10 月 31 日

各 位

会社名 株式会社 KVK  
 代表者名 代表取締役社長 末松 正幸  
 (コード:6484)  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 小関 智晶  
 (TEL.058-293-0007)

## 平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異および 通期業績予想の修正並びに特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ

平成28年7月29日に公表いたしました、平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値との差異および平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期通期業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。また、特別損失が発生する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 29 年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(平成 28 年4月1日～平成 28 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,400	1,000	1,100	700	42.56
実績値(B)	11,487	1,250	1,356	913	55.58
増減額(B-A)	87	250	256	213	
増減率(%)	0.8	25.0	23.3	30.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	11,296	583	641	442	27.02

#### 2. 平成 29 年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異(平成 28 年4月1日～平成 28 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,500	750	800	550	33.44
実績値(B)	11,527	960	1,002	650	39.57
増減額(B-A)	27	210	202	100	
増減率(%)	0.2	28.0	25.3	18.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	11,345	457	520	315	19.25

(第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異理由)

住宅市況は、住宅取得支援策に下支えされ、持ち直しの動きがあるなか、拡販活動に努め、連結・個別ともに売上高は前回予想を上回る結果となりました。

利益面につきましては、前年同期に比べ元安・原材料価格の下落に加え、増収効果、調達コストや経費の削減などトータルコストの引き下げの増収要因により、連結・個別とも各利益が前回予想を上回りました。

3. 平成 29 年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年4月1日～平成 29 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,500	百万円 1,950	百万円 2,050	百万円 1,300	円 銭 79.19
今回修正予想(B)	23,600	2,300	2,400	1,400	85.12
増減額(B-A)	100	350	350	100	
増減率(%)	0.4	17.9	17.1	7.7	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	23,382	1,902	2,009	1,419	86.53

4. 平成 29 年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成 28 年4月1日～平成 29 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,600	百万円 1,700	百万円 1,800	百万円 1,150	円 銭 70.06
今回修正予想(B)	23,700	1,900	1,950	1,100	66.88
増減額(B-A)	100	200	150	▲50	
増減率(%)	0.4	11.8	8.3	▲4.3	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	23,492	1,534	1,648	1,095	66.78

(通期業績予想修正の理由)

平成29年3月期の通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の実績を踏まえ、連結では売上高、各利益ともに前回予想を上回る見込みです。同様に個別も当期純利益を除き、前回予想を上回る見込みです。

なお、個別の当期純利益は下記5. で記載の特別損失(減損損失)250百万円を計上する見込みであるため、前回予想を下方修正いたします。

5. 特別損失の計上について

平成28年9月14日に公表しております本社機能の移転や本年10月新鑄造設備の稼働に伴い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、平成29年3月期下期に本社・本社工場の駐車場・鑄造設備などの固定資産に関する減損損失250百万円を特別損失として計上見込みです。

当該金額につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の金額は今後の精査により変更が生じる可能性があります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上